



本省所在機関

—変化する世界、進化する採用—

1 役割と特色・業務概要

本省所在機関採用とは、統合幕僚監部（統合幕僚学校及び自衛隊サイバー防衛隊を除く。）、陸上幕僚監部、海上幕僚監部、航空幕僚監部、情報本部（通信所を除く。）、防衛装備庁（内部部局に限る。）及び本省内部部局での勤務を想定した採用区分です。

現在、約70名の職員が勤務しております。

採用後、まずは総務、人事、会計、予算、厚生等の一般的な業務や、装備品等の調達等の業務をはじめ、我が国の防衛政策や自衛隊の運用、情報等に係る施策の企画立案や推進を担当し、一定の経験を積んだ後、本省内部部局をはじめとする本省所在機関の管理職員を目指すことが期待されます。

2 キャリアパス

採用から2年間は、**本省所在6機関（※）**のいずれかの機関で勤務となります。この2年間は、内部部局勤務を見据えた内部部局と関連深い部署に配属され、各機関の施策の企画・立案の補佐業務を行い、将来、防衛省・自衛隊の中核機能を担うべく、基礎的知識や技能等を修得します。

3年目からは、内部部局への異動を予定しており、ここで政策的業務に触れ、内部部局の仕事の仕方・ものの考え方を身につけるため、6年程度勤務して、さらなるキャリアアップをしていただきます。8年目頃には、係長に昇任し、9年目以降は、ご自身の希望や意欲、能力、適性等を踏まえ、本省所在6機関及び本省内部部局において横断的に勤務していくこととなります。

※本省所在6機関

①統合幕僚監部、②陸上幕僚監部、③海上幕僚監部、④航空幕僚監部、⑤情報本部、⑥防衛装備庁

3 先輩職員からのメッセージ



安全保障環境が厳しさを増す中、日本の平和に貢献したいと考え、本省所在機関を志望しました。現在は、海上自衛隊で運用される艦艇及び航空機の資機材や業務車両の購入及び維持・整備、大型倉庫の完全無人化、隊員の生活・勤務環境の改善など、海自の運用に欠かせない幅広い事業に携わることができ、やりがいを感じながら働くことができています。また、出張を通じ、鹿児島県にある鹿屋航空基地での潜水艦や不審船の監視を行う哨戒機（PC-3）の内部や装備品の研修、茨城県にある百里基地で従来の警備犬に代わる基地警備用犬型ロボットの操作などの貴重な経験を積む機会もあり、充実した毎日を送っています。皆さんと一緒に働けることを楽しみにしています。

【国家一般職（大卒程度（行政区分）） 2024年入省・海上幕僚監部 装備計画部 装備需品課】

4 問合せ先

〒162-8801 東京都新宿区市谷本村町5-1
TEL 03-3268-3111（代表）
防衛省大臣官房秘書課試験企画係（25005）



防衛省採用情報ページはこちらから👉

https://www.mod.go.jp/j/saiyou/ippan_senmon/index.html

